道の駅なみえ

施設維持管理について

2025年10月

I 新たなコンセプト

第1ステージ (1993年~) 『**通過する道路利用者の** サービス提供の場』

第2ステージ (2013年~)

『道の駅自体が目的地』

1160駅に展開



全国法人の始動

第3ステージ(2020~2025年)

『地方創生・観光を加速する拠点』へ

ネットワーク化で活力ある地域デザインにも貢献

各「道の駅」における自由な発想と地元の熱意の下で、観光や防災など 更なる地方創生に向けた取り組みを、官民の力を合わせて加速します。 更に、「道の駅」同士や民間企業、道路関係団体等との繋がりを面的に 広げることによって、元気に稼ぐ地域経営の拠点として力を高めるとともに、 新たな魅力を持つ地域づくりに貢献します。

新たな「道の駅」ネットワーク 多様な主体 との連携 大学・高明 道の駅同士 の連携 カー が災機関 NTO・海外 和祖母体・電路・多様



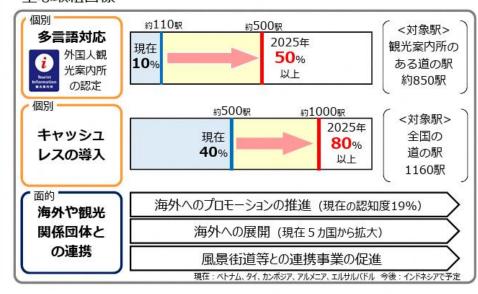
Ⅱ 「2025年」に目指す3つの姿

1.「道の駅」を世界ブランドへ

- 海外へのプロモーションやプロジェクト展開を国が推進し、「道の駅」は世界ブランドに。多くの外国人が新たなインバウンド観光拠点となった「道の駅」を目指し日本へ。
- ●「道の駅」では、国や連絡会の支援も受けて、多言語対応やキャッシュレスなど基本サービスを用意。地域の文化体験など地域ぐるみでの受入環境も充実。 周辺の「道の駅」や観光施設、風景街道などが連携して周遊観光ルートを創出。
- バス、自転車、レンタカーなど周遊の交通拠点としての 役割も発揮し、日本の隅々まで旅行を喚起。多様な 交通手段と地域、観光施設情報等がまとめて提供されるサービス(観光MaaS)の導入も始まり移動が 活発化。



主な取組目標





「道の駅」 第3ステージへ

~ 創設から四半世紀、2020年からの新たなチャレンジ ~

「2025年」に目指す3つの姿

2. 新「防災道の駅」が全国の安心拠点に

- 広域的な防災機能を担うため、国等の支援を受けてハード・ソフト対策を強 化した「防災道の駅」を新たに導入。地域住民や道路利用者、外国人観光 客も含め、他の防災施設と連携しながら安全・安心な場を提供。
- 各「道の駅」でも、地域の防災計画に基づい て、BCPの策定、防災訓練など災害時の 機能確保に向けた準備を着実に実施。
- これら「道の駅」の活動情報は、災害時に国、 自治体、連絡会等でいち早く共有。関係機 関の支援も受けながら、道の駅が地域の復 旧・復興の拠点として貢献。



3. あらゆる世代が活躍する舞台となる地域センターに

- ■「道の駅」を舞台に、地域の課題解決や民間とタイアップした「地域活性化プ ロジェクト」が、ボランティアを含めた様々な団体との協働や、全国連絡会等が 橋渡しを行いながら、全国各地で盛んに実施。
- 地域の子育てを応援する施設の併設や、高齢者の生活の足を確保するため の自動運転サービスのターミナルとなるなど、あらゆる世代が「道の駅」で活躍 するための環境を提供。
- 多くの学生達が、「道の駅」でインターンとし 特産品をいかした商品開発に取り組み、 全国コンテスト優勝を目指して奮闘。

名簿

山形県

福島県

栃木県

栃木県

千葉県

東京都

東京都

新潟県

新潟県

新潟県

新潟県

新潟県

石川県

山梨県

愛知県

兵庫県

奈良県

和歌山県

岡山県

山口県

山口県

徳島県

福岡県

佐賀県

能本県

小出 剛志

カラピ トシヒロ 蕨 俊宏

倉重 宜弘

イシカワ スグル 石川 卓

馬場 大輔

ックトメ ナオミ 五月女 奈緒美

カトラ ハトコ 加藤 はとう

前田 正彦

吉開 仁紀

中井 公人

平松 泰行

北尾 洋二

船崎 美智

小川 満大

武藤 由加

宮原 諒曲

12

道の駅やまがた蔵王

道の駅なみえ

道の駅みぶ

道の駅みぶ

ひとりだち図書館

一般社団法人道の駅経営パートナーズ

般社団法人道の駅経営パートナーズ

株式会社シカケ

(株)テレコムペイシス

やさしい道の駅たがみ

やさしい道の駅たがみ

道の駅加治川

道の駅国上

のと里山空港

道の駅はくしゅう

株式会社道の駅とよはし

道の駅丹波おばあちゃんの里

道の駅かつらぎ

道の駅四季の郷公園

NPO法人まちづくり推進機構岡山

(株)リージョナルマネジメント

ライフスタイル協同組合

(株)ライフスタイル研究所

道の駅いたの

道の駅ウェルネスあらお

九州・沖縄「道の駅」連絡会事務局

道の駅阿蘇

NPO法人やまぐち県民ネット2

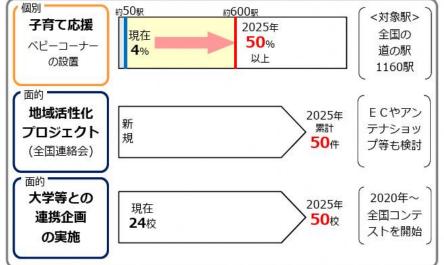
全国道 駅 連絡会 3 ス 応援

て業務を経験したり、実習に訪れ、地域の

主な取組目標



主な取組目標



道の駅なみえ	2022年4月~
来館者数	~2023 年3月

		来館数(係		決決	斉数		
	2.5倍	1日あたり	1.5倍	1日あたり		全館	1日あたり
4月	146,590	5, 055	87, 954	3,033		58, 636	2,022
5月	133, 415	4, 447	80,049	2,668		53, 366	1,779
6月	101,200	3, 490	60,720	2,094		40, 480	1,396
7月	106,898	3, 563	64, 139	2,138		42, 759	1,425
8月	142,373	4, 746	85, 424	2,847		56, 949	1,898
9月	126,645	4, 367	75, 987	2,620		50,658	1,747
10月	127,898	4, 263	76, 739	2,558		51, 159	1,705
11月	113,160	3,902	67,896	2, 341		45, 264	1,561
12月	93, 110	3, 211	55,866	1,926		37, 244	1, 284
1月	101,985	3, 517	61, 191	2,110		40, 794	1,407
2月	101,483	3, 624	60,890	2, 175		40, 593	1,450
3月	147,683	4, 923	88,610	2,954		59,073	1,969
合計	1, 442, 438	4, 110	865, 463	2,466		576, 975	1,644

道の駅なみえ 来館者数2024年4月~2025年3月

	来館数(係数予測)					—————————————————————————————————————	幹数
	2.5倍	1日あたり	1.5倍	1日あたり		全館	1日あたり
4月	134,965	4,654	80,979	2, 792		53, 986	1,862
5月	138,518	4, 617	83, 111	2,770		55, 407	1,847
6月	103,675	3, 575	62, 205	2, 145		41, 470	1,430
7月	110,465	3, 682	66, 279	2,209		44, 186	1,473
8月	157,708	5, 257	94, 625	3, 154		63,083	2,103
9月	138,798	4, 786	83, 279	2,872		55, 519	1,914
10月	125,695	4, 190	75, 417	2,514		50, 278	1,676
11月	126,755	4, 371	76,053	2,623		50,702	1,748
12月	108, 165	3,730	64, 899	2,238		43, 266	1,492
1月	100,575	3, 468	60,345	2,081		40, 230	1,387
2月	97, 360	3, 477	58,416	2,086		38, 944	1,391
3月	134, 430	4, 481	80,658	2,689		53, 772	1,792
合計	1, 477, 108	4, 208	886, 265	2,525		590,843	1,683

道の駅なみえ 来館者数2023年4月~2024年3月

道の駅なみえ 来館者数2025年4月~9月

		来館数(係	決況	 等数		
	2.5倍	1日あたり	1.5倍	1日あたり	全館	1日あたり
4月	127, 185	4, 386	76, 311	2, 631	50,874	1,754
5月	148, 195	4, 940	88,917	2,964	59,278	1,976
6月	99, 938	3, 446	59, 963	2,068	39,975	1,378
7月	117, 695	3, 923	70,617	2,354	47,078	1,569
8月	161, 113	5,370	96,668	3, 222	64, 445	2, 148
9月	117, 513	4, 052	70,508	2, 431	47,005	1,621
10月	127, 943	4, 265	76, 766	2,559	51, 177	1,706
11月	123, 513	4, 259	74, 108	2,555	49,405	1,704
12月	98, 533	3, 398	59, 120	2,039	39, 413	1,359
1月	101, 258	3, 492	60, 755	2,095	40,503	1,397
2月	114, 913	4, 104	68,948	2,462	45,965	1,642
3月	134, 298	4, 477	80, 579	2,686	53,719	1, 791
合計	1,472,093	4, 194	883, 256	2,516	588,837	1,678

	_						
	来館数(国土交通省係数)					決況	斉数
	2.5倍	1日あたり	1.5倍	1日あたり		全館	1日あたり
4月	139, 548	4,812	83, 729	2,887		55,819	1, 925
5月	143, 863	4, 795	86, 318	2,877		57, 545	1, 918
6月	115, 418	3,980	69, 251	2,388		46,167	1,592
7月	140, 323	4,677	84, 194	2,806		56,129	1,871
8月	171, 155	5, 705	102, 693	3, 423		68,462	2, 282
9月	128, 460	4, 430	77,076	2,658		51,384	1, 772
10月	0	0	0	0		0	0
11月	0	0	0	0		0	0
12月	0	0	0	0		0	0
1月	0	0	0	0		0	0
2月	0	0	0	0		0	0
3月	0	0	0	0		0	0
合計	838, 765	2,390	503, 259	1, 434		335,506	956









R	2.電気料金	・上下水道料金		
	支払月	電気料金	上下水道	合計金額
	R2.4			
	R2.5			
	R2.6			
	R2.7			
	R2.8			
	R2.9	1,790,614	149,270	/
	R2.10	1,516,663	183,590	
	R2.11	1,678,352	207,350	
	R2.12	1,035,994	177,870	
	R3.1	1,140,102	171,710	
	R3.2	1,168,850	152,790	月153万
	R3.3	1,139,342	168,190	
	合計	9,469,917	1,210,770	10,680,687
R	4.電気料金	・上下水道料金		
	支払月	電気料金	上下水道	合計金額
	R4.4	1,902,300		
	R4.5	1,783,429	532,367	
	R4.6	1,756,992		
	R4.7	1,922,802	549,109	
	R4.8	2,535,373		
	R4.9	2,716,837	631,268	
	R4.10	2,568,014		
	R4.11	2,388,081	598,741	/
	R4.12	2,413,116		/
	R5.1	3,390,710	554,719	<u> </u>
	R5.2	3,495,342		月276万
	DE 3	2.025.526	Г11 Г77	/

2,935,526

29,808,522

R5.3

511,577

3,377,781

33,186,303

R3	.電気料金・	上下水道料金		
	支払月	電気料金	上下水道	合計金額
	R3.4	1,316,267	524,865	
	R3.5	1,228,769	344,201	/
	R3.6	1,298,120	321,123	/
	R3.7	1,328,854	312,235	/
	R3.8	1,742,665	322,355	/ /
	R3.9	1,882,756	314,831	/ /
	R3.10	1,570,557	286,363	/
	R3.11	1,586,742	185,449	
	R3.12	1,593,180	325,561	
	R4.1	1,845,694	254,266	
	R4.2	2,013,096		月192万
	R4.3	1,935,766	542,201	
	合計	19,342,466	3,733,450	23,075,916

R5	.電気料金・	・上下水道料金		
	支払月	電気料金	上下水道	合計金額
	R5.4	2,346,456		
	R5.5	2,226,444	641,729	/
	R5.6	2,298,027		
	R5.7	2,890,292	576,862	
	R5.8	3,131,397		
	R5.9	2,585,245	606,111	
	R5.10	2,196,696		
	R5.11	2,189,976	572,330	
	R5.12	2,097,036		
	R6.1	2,111,394	528,572	
	R6.2	2,069,938		月263万
	R6.3	2,091,905	497,013	
	合計	28,234,806	3,422,617	31,657,423

管理上の問題点

- ・スマートコミュニティー設備 繁忙期になる休日、大型連休時の故障対応が全く不可能。 複雑なシステムのためか業者間で責任のなすり付けが起こる。
- ・館内の冷房能力が通常の施設と比べ足りていなく お客様からクレームを頂く。館内で熱中症になる事故が発生する。 空調を24時間運転しても28度以下にならず、商品が傷む。
- ・固定費の増加 電気料が設計見込額 年1800万円を大幅に超える。
- ・各入口にピープルカウンターを取り付けていないこと。機関に報告を求められる入館者数を正確に把握できない。